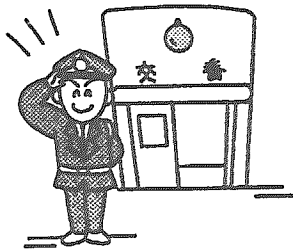


みんな地域安全 明るい新年を迎えましょう！

今年も残すところ、あとわずかとなりました。例年、この時期になると凶悪犯罪やいろいろな事件・事故が多発する傾向にあります。警察では、12月11日から新年1月10日まで「年末・年始における特別警戒期間」と定め、警ら、警戒活動等を強化して犯罪の未然防止を図っています。みなさん、安全で楽しい新年を迎えるため次のことにご協力をお願いします。



10番」をお願いします。

○交通事故の防止

夕暮れが早く、事故が多発します。自動車や自転車のライトは早めに点灯し、スピードを抑え、安全運転で交通事故防止に努めましょう。飲酒運転は絶対しないでください。

○雑踏事故の防止

2年参り・初詣や大売出し等ではあわてず、けがのないようにしましょう。

○強盗・ひったくりの防止

金融機関や金融機関が狙われています。スキを見せないように注意しましょう。

○少年非行の防止

喫煙、夜遊び等は非行の入口です。これらの少年を見たら、どの子でも一声かけるか、「1

もし、犯罪・事故等の被害にあつたり、不審者を見かけたら「110番」をお願いします。車を使つての犯罪は「車のナンバー」の通報が犯人検挙の近道です。

みなさんのご協力をお願いします。

耳よりの情報 広域情報ネットワーク

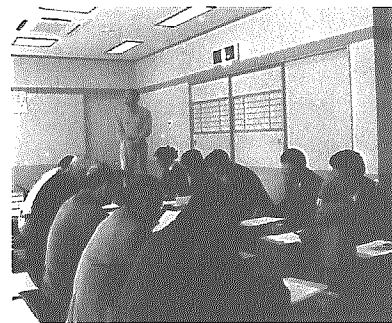
<新潟市>
'99NIIIGATA光のページェント
190本のケヤキを20万個以上のイルミネーションで鮮やかに彩る、新潟の冬の風物詩となった美しいイベントです。点灯初日12月10日にはオープニングセレモニーが開催され、2月14日のバレンタインデーにもイベントを企画しています。
▶期間：12月10日～来年1月16日 2月11日～14日
点灯時間は午後5時～12時
▶場所：駅南けやき通り、駅南口広場
▶問い合わせ：NIIIGATA光のページェント実行委員会 ☎245-3020

<白根市>
いちご狩り
立ったままで収穫できる回転ベッド栽培で、椅子の方もそのまま収穫できます。
▶期間：12月～6月 午前10時～午後4時
▶入園料：イチゴ摘み取り・計り売りコーナーは150円、食べ放題コーナーは1,000～1,500円
▶場所・問い合わせ：白根グレープガーデン ☎362-5535 (白根市鷲ノ木新田)

きのご狩り
全天候型ですので、いつでもきのご狩りが楽しめます。(ヒラタケ、シメジ、ナメコ、シイタケ、マイタケ、タモギタケ、レイシ)
▶期間：10月～3月 午前8時～午後6時
▶場所・問い合わせ：白根観光きのご園 ☎362-7015 (白根市上塩俣土居下)

町観光協会

「じよんのび村」を研修視察



熱心に話を聞く会員たち

10月25日、横越町観光協会(会長 浅見良一)は、刈羽郡高柳町の「じよんのび村」を研修視察しました。活気ある観光施設を視察し、地域おこしにつなげようと企画された今回の研修には、会員11名が参加し、当施設を運営・管理されている今井専務より、施設の概要や施設案内などをしていただきました。参加者のみなさんからは、農産物や加工品など工夫を凝らした産品や施設の充実さに感銘を受けたとの声がかれました。

横越町にとっても、収穫の多い研修視察でした。

10月資源ごみ収集実績

空きびん	4.9 t
空き缶	4.7 t
古紙	18.2 t
合計	27.8 t

12月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	14日(火)
	28日(火)
その他の地区	9日(木)
	30日(木)

10月17日に行われた町内一斉空き缶回収の参加者は約1,700人。回収されたごみの量は2.8tでした。ご協力ありがとうございました。



ふる里物語 町史編さんだより ①

働くじよん、学ぶじよん

青年夜学に誇りをもって

公民館主催の「横越村高齢者大学」(現在は「いきいきセミナー」)の方々の寄稿集「むかしの話」(昭和47・48・49年度)を、興味深く読ませていただきました。その中に、今井芳美氏が「夜学」と題して、中木津青年会「厚志会」について次のように述べられています。

「冬期間の農閑期に空いている蚕室で、20人くらいの人たちが夕食後7時から9時ごろまで熱心に学んでいました。『日本外史』『十八史略』などの難しい漢字を讀書し、そろばんで加減乗除の計算練習をお互いに教

え合つて、熱心に毎晩学んでいました。時には「稲は浅植えか、深植えか」などの課題を論議したり、会員相互のお話し会をしたり、休日には学校の先生や駐在さんを招いての講演会を行ったりしました。

また、部落内での入隊隊兵の歓迎会を催し、招待した兵隊さんと語り合ったりしました。そして、夜学の宿を借りたお礼として、無償で田打ちをしていただいたり、手不足の私の家では、本当に厚志会の方々にお世話になりました。」(以上、「むかしの話」昭和49年度版所載の手記を要約)



元青地山崎秀賢氏
春海学舎(小杉)を創設し、
少年の教育に尽力した
(明治時代後半頃)

青年夜学の設立は、村落青年の団体であった「若連中」に代わるものとして、全県的には明治10年(18

77)代に始まったとされますが、全県下はその結成をみるのは、明治後期から大正期にかけてです。

横越町にあつては、明治23年(1890)、当時の小杉村に春海学舎夜学会が創設されてお

り、このほかにも夜学が各村落・大字単位で結成されていま

これらの青年夜学は、やがて青年団活動へと受け継がれて行きます。

昨日、教育についての種々な問題が指摘されていますが、働くことと学ぶことが一体となり、それが地域の発展にも結びつく教育が、時代を越えて、ますます必要になってきているのではないかと思います。

今井氏が手記の最後に、「夜学で勉強し、且つ勤労を最も重んじていたことを誇りとすることである」と結ばれていることを、噛みしめたいと思います。教育制度の不備を補うものとして設立された側面をもつ青年夜学が、やはり戦後の公民館活

短歌

(公募作品)

落ち葉掃き疲れし体を横たえて一休みするコスモス日和
柿の実も色付き初む道端にコスモス揺ぎ秋を味わう
穏かな野良路あゆめば枯草の濃むらさきの小花つままし
会場となりしセンターそれぞれの園児を写す親のまなざす
平等に当てる秋の陽干し物を午前中は表午後裏返す
杖つきて歩きとほしき人の来て赤ズキ四把求めて行けり
キャベツ苗畑に宿せば秋陽はや西に傾き暮色漂う
歳老いた母病気に臥せれば頼もしく有り若き嫁子の
漬物は母から子へと継がれゆく何時まで続く吾が家の味を
過ぎたるは美しかるかSLの乗務せし日がほろ苦く湧く

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています

第401回全国自治宝くじ

11月28日(日)～12月22日(水)

(発売総額2,190億円・73ユニットの場合)

1等	2億円	146名
1等の前払賞	5,000万円	292名
1等の繰上賞	10万円	14,454名
2等	1,000万円	292名
3等	100万円	2,920名
4等	5万円	365,000名
5等	1万円	1,460,000名
6等	300円	73,000,000名

抽せん日: 12月31日(金)

年末ジャンボ宝くじは通信販売でもお求めにれます。どうぞご利用下さい。

1枚300円

お問い合わせ先
宝くじ協会センター tel.03-3598-3771
※ 全国郵便局及び12指定都市

1等2億円×146名/前払賞各5,000万円

青木 彬樹
小田 トキイ
中村 チヨイ
中川 マツノ
田辺 タケノ
清水 雅美
渋谷 ウタ
清田 ミイ
伊藤 吉作
高橋 一夫

動などの社会教育のルーツにながっているのではないのでしょうか。

(近現代部会 井上栄次)